

AMAZING WORK

平安山/Henzen 良伍の仕事

舞台写真家・小川峻毅が撮影をして来た中で感銘を受けた照明デザインにフォーカスを合わせて『Amazing work』で発表していきます。





小川 峻毅のImpression

「梅棒」の前身は、2001年に日本大学芸術学部ダンスサークル「BAKUの会」内で生まれ、2009年にはストリートダンス界の「JAPAN DANCE DELIGHT」でJAZZ DANCEでの特別賞を受賞し、それからは演劇・ダンス・J-POPとエレメントを多様化してStage performanceを主に活動してきた。多くのファンを集め各所からの注目度は半端なく、「抱腹絶倒」「奇想天外」「空前絶後」といった四字熟語がうかぶ集団の公演をLDでサポート(2011～)できたのは、今のCAT部長・影山氏だと訊く。今回、再演のLD担当は平安山氏で詳しいお話は次号のインタビュー記事「今月の本」をご覧ください。ここでは観客目線での率直な感想を述べたい。芝居というにはテンポが早すぎ、ダンスというには枠が広すぎ、耳慣れたメロディーが聴衆の感性を揺さぶる劇場型 Dance entertainmentを如何に空間設定するか。高揚したい観客の背中を押すようにサポートしたLDは出しゃばることなく“煽る”！LIVE会場で芝居を観るような高揚感は、実はLDの仕業である。演出家、美術家、役者達の見事な連携が織りなすパフォーマンスを気付かれないように“煽る”見事なLDであった。

梅棒 18th “RE” SHOW 『シャッター・ガイ』 作・総合演出:伊藤 今人[梅棒] 美術:二村 周作 映像:O-beron inc 衣裳:山下 和美 企画・製作:梅棒 2024.7.2 IMM THEATER

